資料３－2

平成22年度監査結果の俯瞰

監査の実施体制

- 出先、財政援助団体が対象
- 1／3を監査法人が担当
- 3E、府民への説明責任重視
- 監査委員の直接説明聴取実施

質的拡充

量的拡大

最終報告分も昨年に比して大幅に件数が増加
意見、指示が著しく増加

この結果、年度トータル件数は前年度の３倍となる

	H20	⇒	H21	⇒	H22
意見	10件	⇒	26件	⇒	98件
指摘	52件	⇒	58件	⇒	101件
指示	0件	⇒	2件	⇒	35件
計	62件	⇒	86件	⇒	234件

①府の行財政運営の課題をチェック

- 組織・事業のあり方点検
- 府財政への影響を検証
- 団体の継続的活動の為の意見

②新たな観点からの事務事業への切り込み

- 3E、府民への説明責任重視
- 民間感覚で是正すべきもの

③専門性を活かした財政援助団体のチェック

- 団体のコンプライアンス、ガバナンスの強化を要請
- 会計処理等の事務執行を点検
- 指定管理の適切な運営チェック

④内部統制の強化を要請

- 共通課題を抽出し内部統制の強化を要請

⑤ひと・もの・かねの適正管理のチェック（合規性の観点）

- 人事管理
- 財産管理
- 事務管理
- 財務管理